

富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議 第1回中小企業支援専門部会（概要）

日 時 平成25年1月23日（水）13:30～15:00

場 所 県民会館8階キャッスル

- 議 事
- （1）組織事項
 - （2）中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例について
 - （3）中小企業振興施策等について
 - （4）その他

委員からの主な意見

・各支援機関がそれぞれに支援事業やセミナーなどを実施しているが、行政や支援機関が連携を図り、一緒になって実施することで、効果的な支援ができると考える。

・販売先等の情報量が不足している小規模企業にとっては、ビジネスマッチングなどの支援が効果的であると考えますが、今後製造業だけでなく卸や小売など参加対象を広げたマッチングを検討してほしい。

・中小企業「元気とやま賞」などの表彰制度については、どうしても技術力や資金力のある中小企業の中でも中規模の企業が受賞されているように感じる。小規模零細企業も受賞できるようにもう少し切り分けた賞の設置を検討してほしい。

・各団体では独自に施策や条例などを説明する機会を設ける努力をしているが、なかなか会員に情報が届かないのが現実である。施策の認知度をいかに上げるかが今後の課題であると考えている。施策を有効に活用してもらえようPRの方法、ツール、説明会など効果的な周知の手段について検討が必要である。

・中小零細企業はいいアイデアを持ってはいるが、情報発信力が弱いという課題がある。新商品、新企画の発表に関して各団体でも支援をしているところであるが、ぜひ行政の支援・指導をお願いしたい。

・ものづくり開発センターは非常に高度な設備がそろっているが、中小零細にとっては少し敷居が高く感じる。様々な業種の企業が利用できるよう、対象業種を増やすような形でさらなる設備の充実を図ってほしい。

- ・中小企業はアイデアが出てきても、その開発に時間がかかるとなるとなかなか具体化できない。アイデアを形にする支援を充実させてもらいたい。

また、1社で全て開発するのではなく、アイデアを出す企業、それを具体的な図面に起こす企業、実際に作る企業という形で分担するなどの連携を組むことも考えられる。

- ・商店街には後継者がおらず、空き店舗がそのまま残っている場合が非常に多い。商売をやめた後にきちんと店舗を引き継げるような支援をお願いしたい。

- ・零細企業にとって補助金申請は非常に大変な作業である。時間をかけてわずかな補助金をもらうのかということになり、なかなかアイデアが具体化していない。

- ・北陸新幹線の開通によって、住みやすい富山県に他県から優秀な人材が集まってくることも期待できる。そういった基盤を固めるためにも、長期的な視点に立って、中小企業、零細企業を含めた産業のクラスター化を進めていく必要がある。

- ・創業支援に関し、貸店舗の提供など積極的にチャレンジできる場を提供する支援も有効であると考える。

- ・資金力の弱い小規模企業にとっては、融資制度よりも助成制度の方がありがたい。また、小規模企業のグループ単位での研究開発に対する助成制度を検討してほしい。

- ・小さな企業が健全な経営体質を保持していくためには、資金ももちろん大事であるが、売上げを上げるための知恵などのコンサルティング支援が非常に役立つと考える。